

Reelex

中型ホースリール取扱い説明書

132-614 (AR-1520FY)

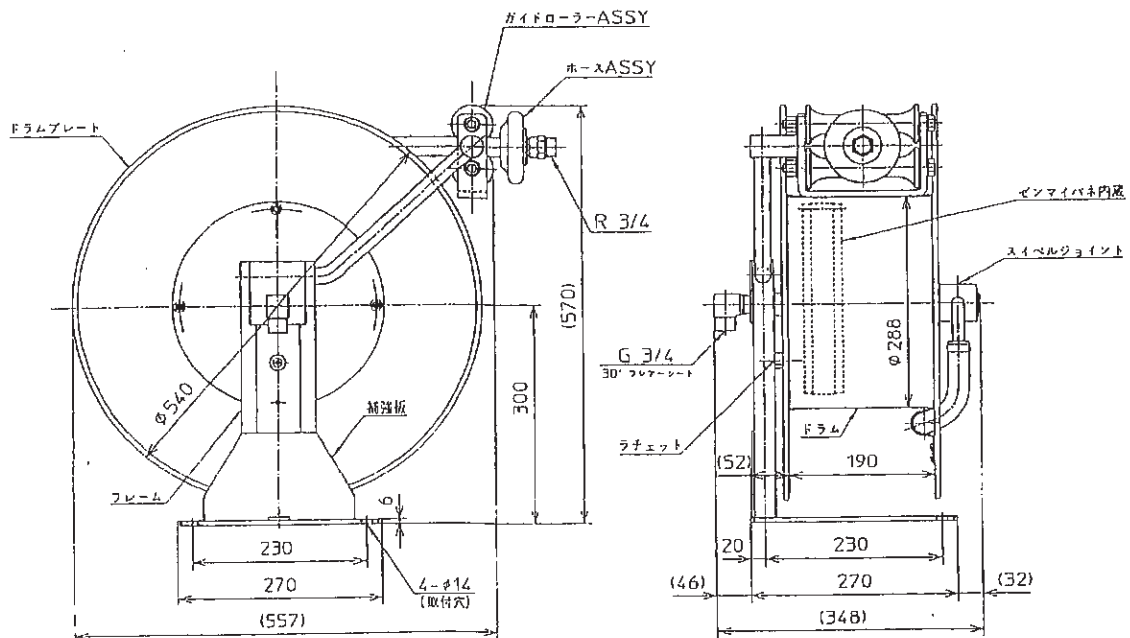
132-616 (AR-1920FY)

132-A0409 (OR-1920FY)

このたびは**Reelex**リールを、お求め頂きましてありがとうございます。
弊社商品を正しくお使い頂く為に、ご使用前に必ず取扱い説明書を良くお読み下さい。
お願い

1. この取扱い説明書に示されているマークは、 **▲注意 ▲警告**
取付取扱いに関する安全上の注意事項ですので必ず厳守して下さい。
2. この商品を改造しての取り付けは、絶対に行わないで下さい。
3. この取扱い説明書に記載されていない使用方法は、絶対に行わないで下さい。
4. この商品又は、取り付け取扱いに付きましては、ご不明な点がございましたら、
商品購入先の販売店にお問い合わせ頂きご理解された上でお取り扱い下さい。
5. 記載事項を守らなかった為に発生した不具合に付きましては責任を負い兼ねる
場合が有りますので、予めご了承下さい。
6. この取扱い説明書は無くさない様、大事に保管して下さい。

1) 各部の名称と寸法



品番	型式	内径 (ID)	外径 (OD)	長さ (L)	圧力 (Mpa)	奥行 (D)	高さ (H)	幅 (W)	質量 (kg)
132-614	AR-1520FY	15.9	27.5	20M	0.98	(557)	(570)	(348)	約 42.0
132-616	AR-1920FY	19.0	30.5	20M	0.98	(557)	(570)	(348)	約 44.0
132-A0409	OR-1920FY	19.0	29.0	20M	0.50	(557)	(570)	(348)	約 43.5

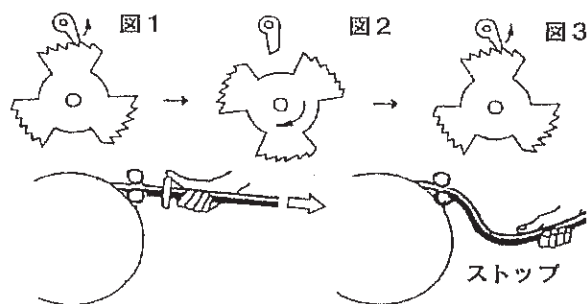
2) ホース入口側接続

ホース入口側はそれぞれ G 3 / 4 (30° フレアシート)のホースニップルが付いて有ります。 既存のホースにホースニップルを差し込みホースバンド等にて締め付けて本体ネジ部へスパナで締結して下さい。 但し、補助ホース・ホースバンドは商品に含まれていません。

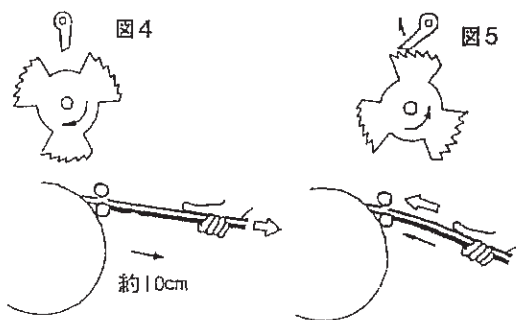
3) ホースの引き出し方と巻き戻し方

ホースを引出しますとラチェットが図1から図2の経過を辿り、もう少し引くと図3の状態になります。

この状態でホース引出しを止めるとホースが巻き戻らない様、止められます。



ホースを巻き戻す場合は、まずホースを約10cm～30cm位引出し、図3から図4のフリーになります。それから全舞バネの巻き戻し力でホースを巻き戻せると、図5の状態になり、尚一層巻き取らせると、どんどんホースを巻き取ることが出来ます。



▲注意

ホースを巻き戻す場合は、ホースを手から放すとドラムが急激に回転しホースやドラムが人に接触して事故が発生する事が有りますので、ホース全長が完全に巻き戻るまでホースから手を放さないでドラムの回転に合わせて、ホースを戻して下さい。

4) 主要部品の交換方法

(4-1) ホースの交換方法

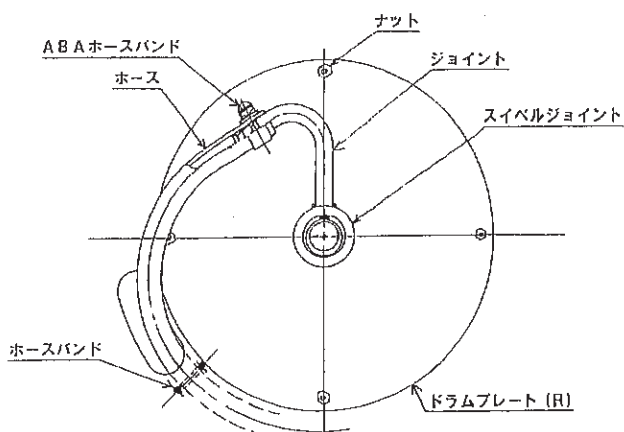
1. ホースを全部引出し、ラチェット機構で停止させて下さい。

▲警告

作業中、ラチェットが外れますとドラムが空転して危険ですので、必ず外れない様にして作業を行って下さい。安全の為にドラムとガイドローラーとを丈夫な紐又はワイヤーで固定してからホースを取り換えて下さい。

2. マイナスドライバー又は、7mm幅スパナでジョイント部のABAホースバンドを緩めABAホースバンドをホースから外して下さい。

3. ジョイントに食いついているホースをナイフで切り、ホースとジョイントとを切り離して下さい。
 4. ホースバンドを緩めホースを取り外して下さい。
 5. 新ホースをガイドローラーとホースバンドに潜らせ、ABAホースバンドをはめて、ジョイント竹の子部へホースを差し込んで下さい。
 6. ABAホースバンドでホースを締め付けジョイントにホースを取り付けて下さい。
- (注) 132-A0409(OR-1920FY)につきましては、ホース根元からアース線が出ていますので、そのアース線を切断しない様、十分に気を付けてジョイント部に取り付け下さい。
7. ホースがジョイントからドラムへスムーズに入る位置で、ホースバンドでホースをドラムに固定して下さい。
 8. 前述ホースの巻き戻し方法により、ホースをドラムに巻き取らせて下さい。



▲注意

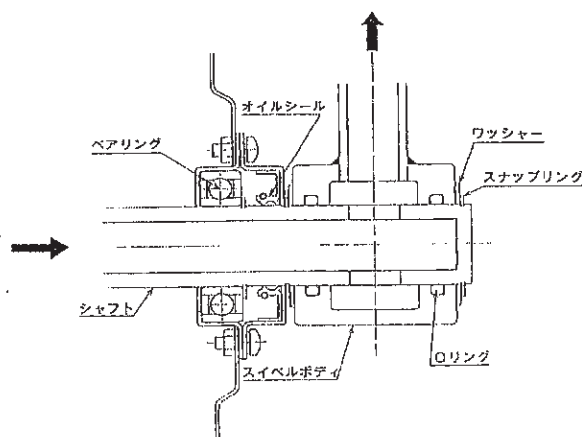
新ホースを取り付け後、指定圧力をかけて、接続部に石鹸水をつけて洩れの有無を確認した後、ホースを巻取らせて下さい。
132-A0409(OR-1920FY)につきましては、導通されているか確認下さい。

(4-2) Oリング(シール)の交換方法

リール入口配管から入った使用流体はシャフト内部を通ってスイベルジョイント → ホースへと流れます。Oリングは、そのスイベルジョイントの内部に2個組み込んでいます。

Oリングは、消耗部品で定期的に整備する必要があります。

1. スナップリングをプライヤーで外して下さい。
2. ワッシャーを外しホースが取りついた状態でスイベルボディを水平に引き抜いて下さい。
3. スイベルボディの内部に入っている古いOリングを取り除いて下さい。



▲注意

スイベルボディ内部に傷をつけぬ様、作業して下さい。

4. 取り外した部品及びシャフト露出部分の汚れをきれいな布で拭き取って下さい。
5. スイベルボディ内部のOリング溝(2ヶ所)へ二硫化モリブデン入りグリスを塗布した新品のOリング2個を入れて下さい。
6. シャフトに適量のグリス(二硫化モリブデン入り)を塗布しスイベルボディを元通りに手でシャフトへ水平に押し込んで下さい。
(注)ハンマー等でたたき無理に入れない事。
7. ワッシャーをシャフトに入れ、スナップリングをプライヤーで確実に溝へはめて下さい。

5) その他の注意事項

1. 全舞バネは危険ですので、分解しないで下さい、
特に全舞バネがバンドから外れますとケガをする場合があります。
2. ホース先端に工具を取り付け御使用される場合、ホースの根元部分を曲げない様にして下さい。曲げが加わりますとホースに亀裂が入り、破裂する恐れがありますので、ご注意ください。
3. 又、オプションとして首振り用の回転台も用意しておりますので、必要に応じて御使用願います。

Reellex 中発販売株式会社

URL <http://www.chuhan.co.jp/>

本社 営業本部

〒457-0066

名古屋市南区鳴尾2丁目114番地

TEL : 052-614-3664 FAX : 052-614-3366

関東営業所

〒338-0002

さいたま市中央区下落合7-4-3 RHKビル201

TEL : 048-711-1927 FAX : 048-711-1936

中部営業所

〒457-0066

名古屋市南区鳴尾2丁目114番地

TEL : 052-614-3652 FAX : 052-614-3366

関西営業所

〒564-0044

大阪府吹田市南金田1丁目11-8

TEL : 06-6385-2228 FAX : 06-6338-0521

19.May